

文化財の誕生

―寺宝の整理と継承の歴史の変遷―

たなか なおこ

田中直子著

▼A5判・上製カバー・416頁・定価九、三五〇円

2025年3月刊行



寺院の宝物(寺宝)はいかに継承されてきたのか。またその寺宝はどのような経緯で現代の「美術品」「文化財」としてとらえられるようになったのか。認識の変遷を仏画の表背墨書や明治期の行政文書をもとに明らかにする。

【目次】

序章 本書の目的と構成について

第一部 近世における醍醐寺座主の仏画の保存継承

第一章 表背墨書から辿る義演の仏画の保存継承

第二章 表背墨書から辿る覚定の仏画の継承と新図制作

第三章 表背墨書から辿る高演の仏画の保存修復事績

第二部 近代における寺宝の認識の変遷

―醍醐寺を中心として―

第四章 京都府行政文書から辿る明治時代の寺院調査

第五章 京都府行政文書から辿る明治時代の美術調査

第六章 明治二十八年を巡る寺宝の認識

第七章 東京国立博物館所蔵史料を中心に辿る明治時代の社寺調査

第八章 修史事業のための醍醐寺の史料調査

第九章 明治時代における寺宝の認識の変遷

終章 本書の成果と課題・展望

あとがき／参考表／参考図／英文要旨／索引

◆著者略歴

田中直子(たなか なおこ)

英国セントアンドリューズ大学大学院へ文部省派遣留学。兵庫教育大学大学院博士課程修了。博士(教育学)。高山市教育委員会文化課学芸員を経て現在総本山醍醐寺学芸員。
論文に「表背墨書から辿る義演の仏画の保存修復事績」(『日本歴史』898号)、「表背墨書から辿る仏画の保存継承―醍醐寺座主高演の事績を中心として―」(『地方史研究』426号)ほか。

注文書

(書店印)	
ご担当	様冊
法藏館 定価九、三五〇円	
田中直子著	
文化財の誕生	
寺宝の整理と継承の歴史の変遷	
ISBN: 978-4-8318-6335-5 C3021	
お名前	ご住所
お電話	

ご注文はFAX:075-371-0458

法藏館

〒600-8153 京都市下京区正面通烏丸東入
TEL 075-343-0458 FAX 075-371-0458
http://www.hozokan.co.jp info@hozokan.co.jp

日本史・美術